事業者向け　放課後等デイサービス　自己評価表　　NPO 法人そくしん 河南店　　令和 5 年 2 月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			園庭のスペースを広く取り伸び伸びと体を動かせます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			安全と、きめ細かな療育を行なうため、基準より多い児童 2 人につき 1 人の割合で配置しさらに、1 人余分に配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内を改装し、狭かったトイレ周りを車椅子での介助ができる広さを確保しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングの時間を長く取り分けることにより療育や業務全体の質の向上を目指しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートを実施し、保護者の意見や要望は把握できましたが、改善までには時間と努力が必要です。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	義務化されていませんが、今後取り組む必要があります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月社内研修や、療育の向上のための研修を定期的に受けていただき、資質向上に役立てています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画をもとに個別の療育内容を考慮し実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		日々真剣に取り組んでいます。しかし標準化までには至っていないのが現状です。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			タイムスケジュールを明確に決め全員で取り組んでいます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		完全に固定化しているわけではないが、成功例に基づいて療育しているためパターン化している面があります。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		放課後は、宿題を主に行い、休みは食育を行うなど毎日の取組を計画していますが、障害の差があり、細やかに設定し、実際に行うのが難しいと感じています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			宿題や学習は個別に行い、歩行訓練やスポーツを集団で行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		担当を決めて、それぞれの児童がその日行う療育や課題を把握し取り組んでいますが、長期休みの時は出勤時間の差があるため、事前のミーティングが難しい時があります。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了前の時間に業務日誌を入力しながら各児童の成果や課題について意見を出し書き込み、共有化を図っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌を PC 内で管理し、個別支援計画や親や本人の意向に関連した事柄を定期的に振り返りながら、今後の取り組みに役立てています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画をもとに個別の療育内容を考慮し実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		想像力を高めるパズルやブロック遊び、自然公園に外出し季節の変化を肌で感じるよう取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			毎度、児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎回の送迎の際、学校の先生とコミュニケーションを取り連携して支援しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	受け入れていません。

関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		直接は行っていませんが、相談支援事業所からの聞き取り情報によってかなりの程度理解を得ています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、該当する児童がいません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			紹介される中で特に必要と思われる研修を積極的に受けるよう努力しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	—	—	—	ここ数年新型コロナウイルス感染症対策のため取り組めませんでした。今後機会を見出します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			石巻市女川町自立支援協議会と連携し協力しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎の際、必要な場合はメールを通して意思疎通を図っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		わたしたちもペアレントトレーニングの研修を受けていますので、必要であれば取り組み方法をお伝えすることができます。
保護者へ説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の時に説明させていただいています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談していただけるときは応じていますが、もっと相談を受けやすい環境をつくりノウハウを身に着けていきたいと思います。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		休み中に開催することがありますが，まだまだ機会は微々たるものですので、今後定期的に取り組む予定です。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情はほとんど受けていませんが、意見箱を設置するなどもっと言いやすい環境を整備し真摯に対応したいと思います。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		ホームページで発信していますが、保護者の要望にかなうほどの情報量ではありませんので今後充実化させたいと思います。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			大切な書類は鍵付きの書庫に保管し、お渡しする書類はすべてチェックし漏洩を防止しています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			時間をかけてそれぞれの子どもの特性に合わせて意思疎通をはかっています。保護者様の情報も得ながら、接していきます。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	—	—	—	現在、新型コロナウイルス感染症による活動自粛ため行っていません。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを作成し、社員とは頻繁にマニュアルに基づいた研修し、保護者様にも緊急時の対応方法をお伝えしています。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震、津波、洪水、放射能、核弾道ミサイル等、様々な災害備えるために研修を行い、実地訓練を行っていいます。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			管理者が研修を受け、その情報を社員に伝え徹底しています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			基本的に身体拘束を行う必要性がありませんが、安全を第一に考えた対応を常に意識しています。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様から情報をいただき対応しています。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			頻繁に作成し、ミーティングや研修で扱い情報共有と対策を行っています。